

空港の温浴施設でリラックス

国内に約100カ所ある空港。近年はおしゃれなショッピングモールなどさまざまな付帯施設が作られ、それ自体を目的に訪れる人も増えている。旅の疲れを癒してもらうという、温浴施設を設ける空港もあり、ここでは各カ所にある天然温泉や足湯施設を紹介する。

種類豊富な風呂（中部国際空港株式会社提供）



中部国際空港（SOLASPA風の湯）

飛行機を望む展望風呂
デッキから湾に沈む夕日も



飛行機を眺めながら入浴（中部国際空港株式会社提供）

中部国際空港（セントレア、愛知県津市）第1ターミナル4階に位置。総合リラクゼーション施設「くつろぎ処」内の、日本初という飛行機を望む展望風呂。展望デッキでは伊勢湾に沈む夕日や飛行機の離着陸を眺める。

漫画を読めながらくつろげる無料のリラクゼーションスペースを利用できる。入浴後は隣接しているセントレアで唯一の座敷席もある食事どころで料理、飲み物を楽しめる。

入浴料大人タオル付き1500円、タオルなし1300円。

平日午前10時から午後9時（最終受け付け午後8時）、土日祝日午前9時から午後10時（同9時）。11月第2火曜日休業。

露天風呂



新千歳空港（新千歳空港温泉）

源泉から毎日運ぶ美人の湯
「空にいちばん近い温泉郷」



内風呂

北海道の空の玄関口、新千歳空港（北海道千歳市）の国内線ターミナルビル4階に位置。源泉から毎日運ぶという温泉は美人の湯とも呼ばれる塩分を含むナトリウム塩化物物。入浴後の体に残った塩分が汗の蒸散を防ぐため、保温効果が高く、保湿性に優れるという。

施設は露天風呂と内風呂、高温サウナ、ミストサウナ。シャワー、リンズ、ボディソープ、バスタオル、フェイスタオルなど各種のアメニティを備え、手ぶらで来ても利用できる。

入館料大人1800円（深夜料金、朝風呂入浴料金あり）。

午前10時から翌朝9時まで営業（最終受け付け午前7時30分）。

天然温泉を利用した足湯（鹿児島空港ビルディング株式会社提供）



別府の湯を毎日運び利用



展望デッキに併設する足湯



空港敷地から湧く
天然温泉を使用

鹿児島空港
（天然温泉足湯おやつとさあ）

鹿児島空港（鹿児島県霧島市）の天然温泉足湯「おやつとさあ」は、国内線ターミナルビル1階前面通路に位置。国内初の天然温泉を使用した足湯という。

「おやつとさあ」は鹿児島県で「お疲れさま」の意味。

桜島や霧島をイメージした石製の山から温泉が注がれる。屋根や柱の木材部分は県産材を使用。温泉は空港駐車場内地下から湧出。泉質はナトリウム炭酸水素塩泉（重層泉）。車椅子の人も利用できるよう、スロープと手すりを設置している。

運用時間午前9時から午後7時30分。料金無料。

源泉掛け流しの湯
毎日運び利用

大分空港（大分県国東市）1階到着ロビーに位置。別府温泉で自然湧出した源泉掛け流しの湯を専用トラックで毎日運び、利用している。

県産のきの風呂が二つ並び、座席数は計14席。泉質は単純温泉。神経痛、筋肉痛、冷え性の改善などに効くという。

簡易更衣室を備えるほか、靴下やストッキングを履いたままでも入浴できる「ニールソックス」を準備している。足拭き用のタオルを380円で販売している。

料金無料。利用時間は午前9時30分から午後7時。

大分空港

（足湯）

人工島から雄大な
景色を眺める

北九州空港

（足湯）

※現在休業中

北九州空港（福岡県北州市小倉南区）旅客ターミナル3階南側の展望デッキに位置。空港は面積約3733haの人工島にあり、湯に漬かりながら外の雄大な景色と飛行機の様子を眺めることができる。

通常は午前8時30分から午後5時30分までの営業。大人1000円、子供500円、団体料金（20人以上）あり。

足湯入浴記念タオルを1000円で販売している。

※新型コロナウイルス感染症の拡大で2020年4月1日から当分の間、休業。営業開始時期は未定。